

INCJ(旧産業革新機構)について

2019年1月18日

株式会社 I N C J

INCJ設立の背景

日本の産業構造の大きな転換期（2007年～09年）

グローバル化、オープン化、知識経済化の潮流

■ 日本の産業構造の課題

ピラミッド型の古い産業構造の限界

優れた技術・ノウハウの囲い込み、自前主義による『宝の持ち腐れ』
『ものづくり』と『サービス』の接近と融合への対応
業種なき産業構造への対応

■ 民間ファンドでは出来ない機能への期待

中長期のリスクマネー（=エクイティ投資）の出し手不足

■ 官民ファンドとしての触媒機能

政策ビジョンを実行するための促進剤
時限的な組織

INCJの概要・基本方針

オープンイノベーションを通じて
次世代の国富を担う産業を育成・創出する

概要

- 産業競争力強化法に基づき、2009年7月より運営開始
- 運営期間は15年間
- 投資能力は約2兆円

基本方針

- 収益性や実現可能性のみならず、社会的な意義（投資インパクト）を重視
- 比較的中長期のリスクマネーを提供
（投資収益率（IRR）ではなく長期の投資回収倍率（MoC）を重視）
- 民間だけではリスクが高く投資が困難な分野への投資
（民間企業、民間ファンドと協業・協力、呼び水効果）

投資基準

- ①社会的ニーズへの対応、②成長性、③革新性が認められる案件であること

INCJの実績（投資vs.回収）

Exit実績（2018年3月末時点：43件+LPS）



現時点Performance



※ 想定Valueは、2018年3月末時点での既回収額、保有投資有価証券等の合計(損失引当金控除後)

INCJの実績(投資vs.回収)

アーリー/ベンチャー企業投資

Exit実績 (2018年3月末時点 : 31件+LPS)



現時点Performance



事業再編・統合 / 海外資産活用

Exit実績 (2018年3月末時点 : 12件)



現時点Performance



INCJの貢献（定性的評価）

■ リスクマネーの供給

- 1件あたりの投資額は数億円から30億円超（ベンチャー）
- ITのみならず、ライフサイエンス、化学・素材、ものづくり等へ投資
- 産業再編、海外M & A

■ 人材育成（ベンチャー）

- INCJのベンチャー・グロース投資グループの累計職員数約70名
- LP出資先においてキャピタリスト94名（新規55名）を育成

■ 大型産業再編の実現とバリューアップ支援

- 様々な業界において大型の産業再編・統合を実現・推進
- マジョリティ株主として統合後の経営戦略、事業戦略の策定や追加M&Aを積極的にサポート
- Exitを通じて再編を加速させ、グローバル市場で戦える企業の創出

■ 大型海外共同投資のプロセス支援とリスクシェア

- 日本にない経営資源・ノウハウに日本企業と共同投資を実施
- デューデリジェンスや買収交渉など複雑なプロセスを支援
- 買収後のガバナンス構築検討や取締役派遣により経営陣の経営・管理を支援

INCJの政策目標(KPI)

INCJ全体のKPI	目標	進捗状況 (平成30年9月末現在)
収益性 INCJ全体の長期収益性 (回収額 ÷ (売上原価 + 間接経費))	1.0倍超 ※個別案件では期待収益2倍以上が目標	2.6倍となっており、目標を達成
インパクト 総案件数に占める客観化された投資インパクト (グローバルリーダー企業創出、ゲームルールの変革等) が達成されている件数の比率	66%以上	88% (42件中37件) となっており、目標を達成
エコシステム 他の公的研究機関やベンチャー支援団体等との連携数	【INCJ全体】 平成30年度末までに11件以上 【うち健康医療分野】 平成30年度末までに5件以上	INCJ全体：10件 健康医療分野：5件 健康医療分野は目標を達成、INCJ全体の目標は未達成
ベンチャー支援 INCJ全体に占めるベンチャー等投資比率	件数ベースで66%以上	79% (129件中102件) となっており、目標を達成
民業補完 民間からの協調出資がなされた件数の比率	【INCJ全体】 95%以上 【健康医療分野】 100%	【INCJ全体】 99.3% (133件中134件) 【健康医療分野】 100% (24件中24件) となっており、目標を達成 ※実投資額9,435億円に対し誘発された民間投融資額 (呼び水効果) は7,002億円 (INCJ創設以降の累積)

INCJの実績(個別投資案件)

従来から、EXIT済み個別投資案件の株式譲渡金額、収益等については、投資先企業および譲渡先企業に不利益を与える可能性があるため、公表を控えてきた。今般、改めて開示内容について見直しを行い、IPO銘柄および上記関係会社が開示を行っている場合については、原則として、下記の通り公表することとした。

IPO/PO案件(含一部売却)

2018年1月末現在* (単位:100万円)

会社名	実投資額 (付随費用除く)	回収額 (配当等含む)	損益
ジャパン ディスプレイ	93,000	163,634	70,634
中村超硬	1,245	1,298	53
リファインバース	500	970	470
ヨシムラフードHD	900	2,615	1,715
エルテス	300	1,292	992
Landis+Gyr Gr.	53,509	102,464	48,956
**ルネサス エレクトロニクス	71,529	559,209	487,680
(内センサーへの売却2018年3月9日公表)	(9,003)	(81,029)	(72,025)

INCJの実績(個別投資案件)

上場企業への株式売却案件

2018年1月末現在 (単位:100万円)

会社名	実投資額 (付随費用除く)	回収額 (配当等含む)	損益
JEOL RESONANCE	1,500	2,950	1,450
日本インター	3,500	6,236	2,736
ユニキャリア ホールディングス	30,000	73,317	43,317
アルプス グリーンデバイス	6,249	1,200	-5,049
KBI Biopharma	5,339	9,151	3,812
アグラ	600	107	-493
出版デジタル機構	7,000	12,452	5,452
All Nippon Entertainment Works	2,220	35	-2,185
Peach Aviation	1,940	13,905	11,965



投資事業グループ関係

ミッションと活動実績

「オープンイノベーション」を政策目標と投資リターンとのバランスを取りながら、再編・統合、海外投資を通して実現

課題/戦略

再編・統合投資

- 大型の再編・資本再構築に必要な資金を提供
 - ✓ 大型の事業再編・統合を支援し、民間の投資ファンドでは対応できない資金調達を補完
- 官民ファンドとしての中立性の活用
 - ✓ 民間の投資ファンドでは難しい行司役として再編を促進
- 再編後の統合過程を支援
 - ✓ 新会社の戦略策定など、PMI（ポスト・マージャー・インテグレーション）の活動を主導

海外投資

- 日系企業の海外展開の支援
 - ✓ 海外企業の販路、生産拠点、技術等の獲得による成長市場へのアドレスや日本への技術の還流を支援
- クロスボーダーM&Aの支援
 - ✓ 買収交渉やPMIなど、国内買収より難易度の高いプロセスを支援
- リスクマネーの提供
 - ✓ 企業の規模対比金額の大きいM&Aのリスクをシェア

実績

- 多様な再編スキーム
 - ✓ 投資実行時、投資後、Exit時と多様な手法で再編を促進
- 新規事業・技術の創出
 - ✓ 多くのオープンイノベーションに繋がる動きを後押し

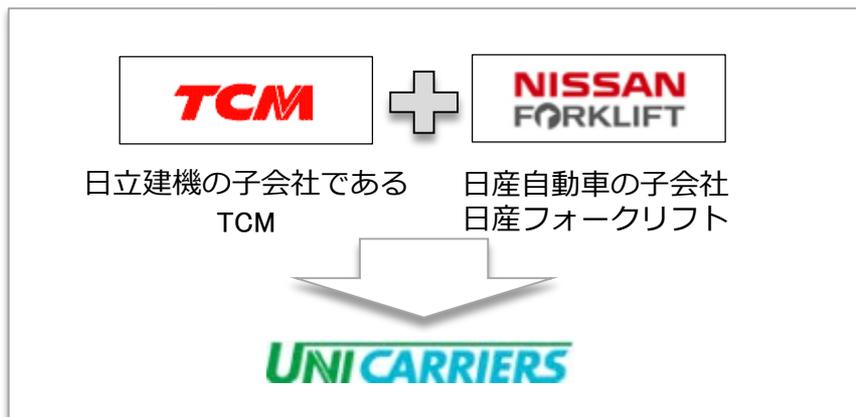
12件 約5,900億円*

- グローバル再編の促進
 - ✓ 日系企業を含むグローバル企業創出に貢献
- 海外ネットワークの拡充
 - ✓ 海外金融機関や民間ファンド、SWF等との連携の深化により日系企業の海外展開を支援

16件 約2,700億円*

ユニキャリアホールディングス株式会社

グローバル第三位 フォークリフト企業の誕生

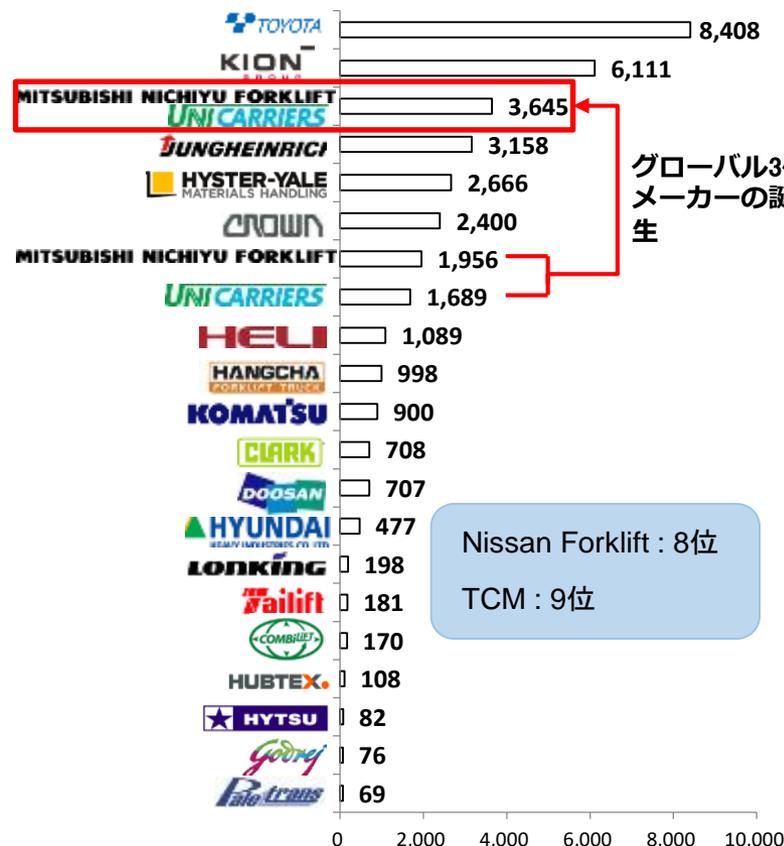


- 事業再編後、グローバル市場における競争力を強化
- 支援決定金額：300億円（上限）
- 支援決定公表日 2012年3月31日
- Exit：2015年7月に三菱重工業株式会社及び二チユ三菱フォークリフト株式会社に全株式譲渡

※現在は二チユ三菱フォークリフト株式会社の100%子会社

新統合会社の企業規模

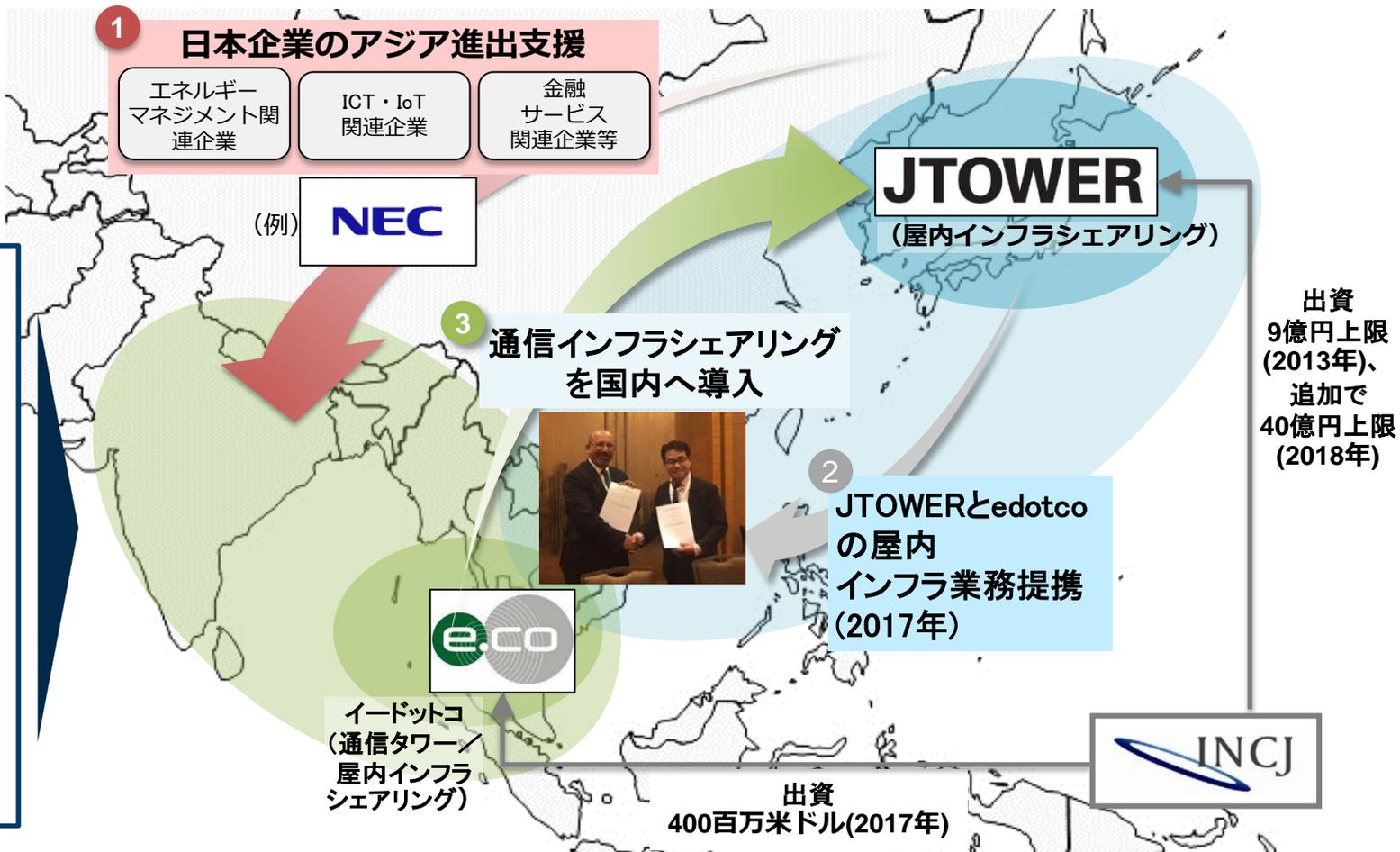
グローバルトップ20社の売上高（※フォークリフト事業単体の数値；百万ドル）



個別分野における対応の例： 通信インフラビジネス

課題認識

- 通信データ容量増加と5G対応による、通信キャリアの設備投資効率化ニーズの高まり
- グローバルで通信インフラシェアリングが普及する中、日本では未開始でありノウハウ不在
- 国内ICT関連企業等の海外展開が不十分



今後も海外通信インフラ企業への投資を積極的に追求し、中長期的には将来のIoTコスト削減に繋がる**通信インフラシェアリングの国内での導入拡大**を目指す

個別分野における対応の例： 静脈産業ビジネス

プロセス	海外			我が国		
	一廃	産廃	専ら物	一廃	産廃	専ら物

※一廃：一般廃棄物、
産廃：産業廃棄物
専ら物：専ら再生利用可能な物

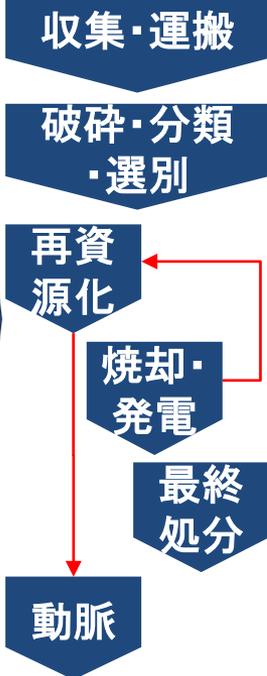
自治体
住民

企業

再編統合が進まず、
1万社超が乱立

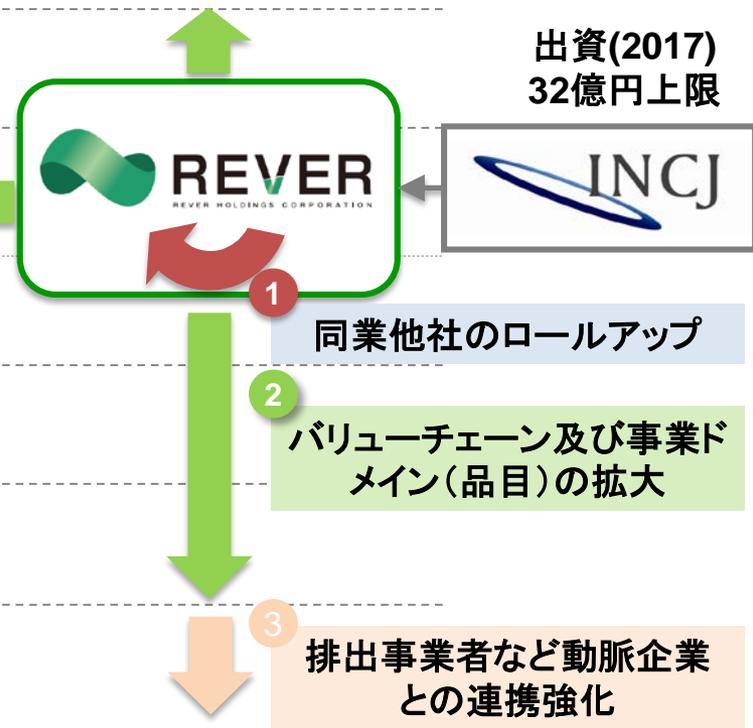
課題認識

- 国内市場が縮小する中、小規模事業者が多く、過当競争・非効率な状況
- ✓ 静脈産業と動脈産業の連携が出来ておらず、再生材が普及していない
- ✓ 海外市場は成長が見込まれるにも拘わらず十分な展開が出来ていない
- ✓ 新素材・新部品等のリサイクルへの対応（研究開発）が困難



「静脈メジャー」が存在

- 全機能を持ち、廃棄物を一気通貫で処理
- 海外にも積極展開
- 素材開発から関与し、自動化や新素材リサイクルなど多機能を有する



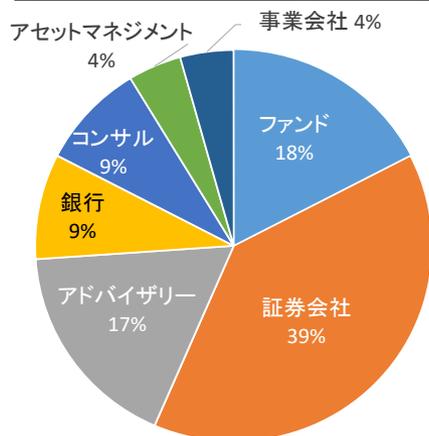
静脈産業における再編統合の主体となるプラットフォームを構築し、
循環型経済を実現できる規模・信用・技術を持つ日本発の静脈メジャーを創設する

投資事業グループ人材バックグラウンド

採用方針1：若手メンバー中心の採用、未経験者歓迎
採用方針2：人材ポートフォリオの多様化

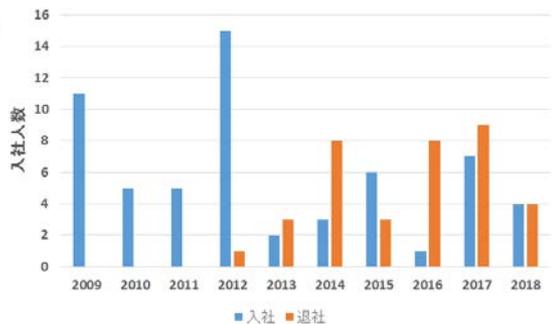
投資事業グループメンバー

現メンバー(23人)入社直前所属業種:



入退社状況

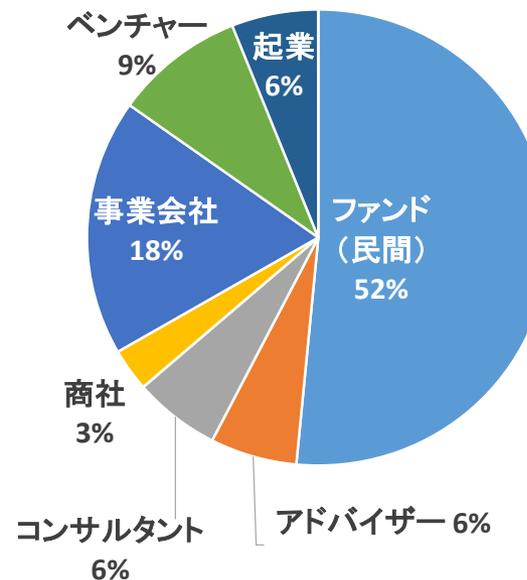
・ 平均在留期間:4年間



主な志望動機

- ・ キャリアチェンジ
- ・ 豊かつ多様な投資案件への関与
- ・ 社会的意義のある投資(国家のためになりたい)

退職後の就職先



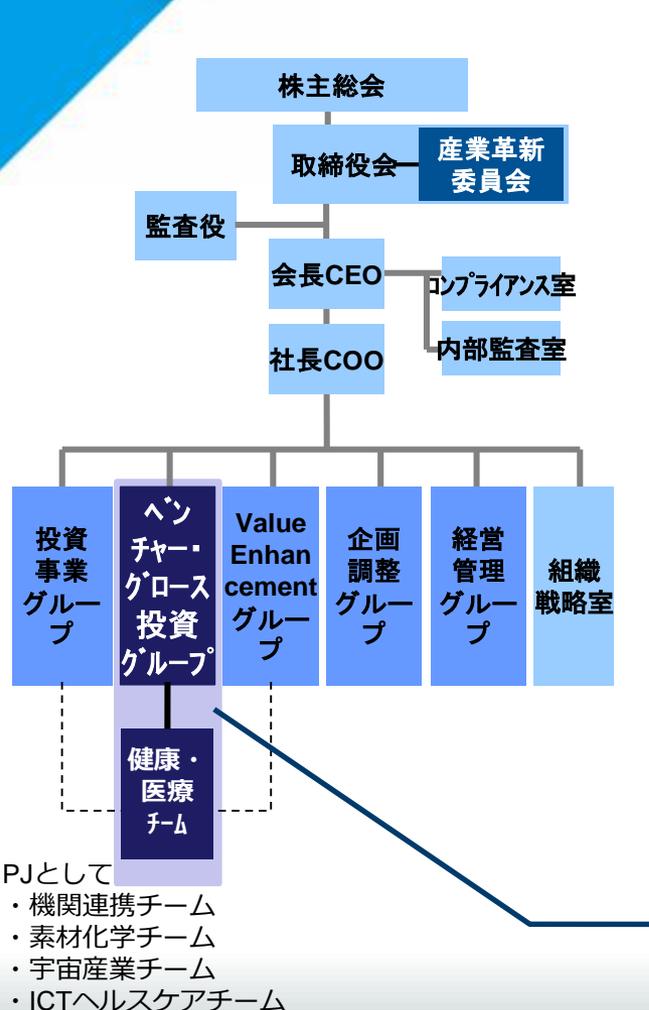
投資事業グループとしての問題意識

- 産業政策と投資リターンのバランス
- 産業政策の実現における官との連携
- 純粋な投資判断に関わる権限の明確化
- 投資領域と手法の柔軟性
- 多様な人材の確保と育成



ベンチャー・グロース投資グループ関係

ベンチャー・グロース領域においては、INCJ設立以来着実に取り組みを重ねてきた。2013年以降は、戦略投資グループを立ち上げてベンチャー・エコシステム構築に向けたベンチャー投資を加速化してきた



2009年～
(5名)

2012年6月～
(7名)

2013年3月～
(14名→27名)

2017年7月～
(41名)

※2018年12月末

ベンチャー投資に向けた土台作り

ベンチャー投資の強化に向けた体制構築

ベンチャー投資の本格展開
※戦略投資グループ

エコシステムのための最終フェーズ
(ベンチャー・グロース投資)

- **多様性のある人材の大量投入**
 - ①ハンズオン支援
 - ②大企業とのCo-Workアレンジ
 - ③ポートフォリオ間のシナジー
- **戦略的LP投資の開始 (2013/8-)**
- **投資検討プロセスの見直し (2014/1-)**
- **INCJならではの投資意義が見込まれる案件/連携へ一層フォーカス**
 - ✓ 民間VCでは取り組み困難、国富の創出に繋がる領域/テーマ、等
 - ✓ LP投資先ファンドや外部機関との更なる連携

- **ベンチャーエコシステム構築のための整備**
 - ①ファンド満期到来による買戻し義務の撤廃化促進
 - ②優先株による投資の定着化
 - ③ファンド人材の増強
- **ベンチャー投資データベース構築に向けた連携**

背景：
• 3つの投資基準（①社会的ニーズへの対応、②成長性、③革新性）、を通じた「投資インパクトの創出」を念頭に置いた投資活動

戦略的LP投資を含めてベンチャー投資のフィールドへ107件、2,446億円を資金供給し、協同リスクマネー供給者としての役割を果たしている

1

2009-2013

ベンチャー案件 計24件

投資総額 947億円

2

2013-VG投資グループ案件 計74件

投資総額 933億円

年	案件数	投資総額	案件名	対外公表日(初回)	支援決定額	案件名	対外公表日(初回)	支援決定額
2013年 計10件 122億円			株式会社PRISM Pharma	2013/5/27	10	リンクウイズ株式会社	2017/1/17	4
			株式会社アクアセラピューティクス	2013/4/1	10	オスカーテクノロジー株式会社	2017/3/14	8
			アジアンベイス株式会社	2013/8/7	15	株式会社スコピアファーマ	2017/3/21	76
			アパレルウェブ株式会社	2013/8/7	3	株式会社ファームノートホールディングス	2017/3/27	3
			株式会社メガカリオン	2013/8/26	41	株式会社シーディーアイ	2017/4/14	8
			Zepton Corporation	2013/9/2	7	株式会社フロムスクラッチ	2017/5/16	15
			ユニゼオ株式会社	2013/9/13	6	ダイナミックマップ基盤株式会社	2017/6/13	13
			スマートインサイト株式会社	2013/10/7	10	株式会社Nextremer	2017/8/8	5
			ヘイ株式会社	2013/10/15	10	エレファンテック株式会社	2017/9/7	3
			株式会社ロイヤルゲート	2013/10/28	10	株式会社ナイルワークス	2017/10/10	3
2014年 計18件 173億円			リファインバース株式会社	2014/1/14	5	株式会社QPS研究所	2017/11/6	9
			スキューズ株式会社	2014/2/3	5	GROOVE X株式会社	2017/11/14	35
			NapaJen Pharma, Inc.	2014/2/12	35	LEシステム株式会社	2017/12/4	8
			株式会社Trigence Semiconductor	2014/2/20	10	株式会社ispace	2017/12/13	35
			株式会社マテリアル・コンセプト	2014/2/27	6	株式会社LINK-US	2018/2/22	4
			株式会社シフトワン	2014/3/6	9	株式会社エクサウィザーズ	2018/3/13	3
			株式会社クリエイトワクチン	2014/5/16	3	Clipline株式会社	2018/3/29	4
			株式会社True Data	2014/5/19	4	株式会社光コム	2018/4/16	4
			Sansan株式会社	2014/5/22	8	ペプチスター株式会社	2018/4/18	8
			マイクロ波化学株式会社	2014/6/2	8	株式会社タベルモ	2018/5/22	9
2015年 計11件 147億円			Cloudian Holdings Inc.	2014/7/8	16	ウミトロン株式会社	2018/7/3	8
			WHILL株式会社	2014/7/14	9	株式会社BeeEdge	2018/11/1	10
			アグラ株式会社	2014/7/25	6	株式会社アクセルスペース	2018/12/7	9
			株式会社NejiLaw	2014/8/4	7			
			QUADRAC株式会社	2014/8/7	17			
			Scivax株式会社	2014/9/3	7			
			オーマイグラス株式会社	2014/9/22	9			
			株式会社ジャパンマルチメディア放送	2014/10/7	10			
			株式会社GRA	2015/2/9	4			
			レナセラピューティクス株式会社	2015/2/26	9			
2016年 計12件 209億円			KBI Biopharma	2015/3/9	60			
			クオンタムバイオシステムズ株式会社	2015/3/16	33			
			スペクトロニクス株式会社	2015/6/17	8			
			株式会社フロアディア	2015/7/23	8			
			株式会社イノフィス	2015/8/3	7			
			株式会社スマートドライブ	2015/8/5	7			
			ナノミステクノロジー株式会社	2015/8/6	5			
			株式会社エルテス	2015/10/1	3			
			株式会社ユニバーサルビュー	2015/10/28	5			
			株式会社F.TRON	2016/1/19	9			
2017年 計14件 225億円			SOINN株式会社	2016/2/1	3			
			株式会社インキュベーション・アライアンス	2016/3/1	7			
			ステラファーマ株式会社	2016/3/3	35			
			住化積水フィルムホールディングス	2016/3/10	17			
			ASTROSCALE	2016/3/24	73			
			株式会社キュラディムファーマ	2016/4/27	22			
			株式会社日本エンプレス	2016/5/26	7			
			Kyoto Robotics株式会社	2016/7/19	8			
			株式会社ABEJA	2016/7/25	10			
			ATONARP株式会社	2016/8/4	8			
2018年 計9件 58億円			Treasure Data, Inc.	2016/11/8	10			

3

戦略的「V」投資 計9件、投資総額 565億円

	投資約束総額	投資件数	投資総額	キャピタリスト数
Med Venture Partners	44億円	259社	720億円	97名(新規57名)
東大エッジキャピタル	100億円			
グローバル・ブレイン	100億円			
WIL	100億円			
インキュベイトファンド	50億円			
ATR/NVCC	25億円			
環境エネルギー投資	50億円			
ユニバーサルマテリアルズ*インキュベーター	60億円			
テックアクセラ	35億円			

ベンチャー・グロース投資グループは、直接投資と戦略的LP投資を両輪とし、「選ばれる投資家としての思考・行動」のもと、「エコシステム構築に向けた取り組み」に注力してきた

Mission

- 日本の起業立国としてのプレゼンス確立
- オープン・イノベーションの活性化
- グローバルスケールベンチャーの創出への貢献

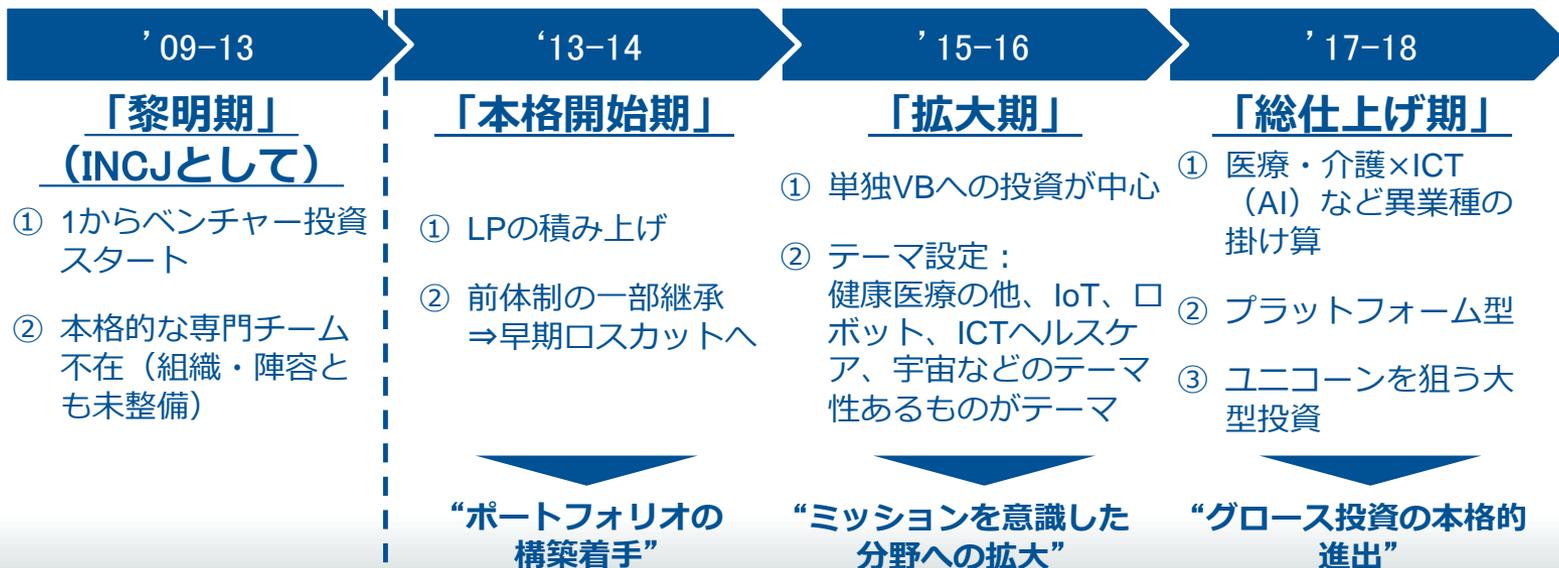
Principle

- 失敗への寛容。挑戦への称賛
- 既存民間VCとの補完関係の構築
- 企業間連携の実現
- 多国籍且つボーダーレスの意識

基本方針



具体的な活動内容



戦略的LP投資を含めてベンチャー投資のフィールドへ107件、2,446億円を資金供給（2018/12末時点）

直接投資

戦略的LP投資



2009-2013	2013	2014	2015	2016	2017	2018
計24件 947億円	計10件 122億円	計18件 173億円	計11件 147億円	計12件 209億円	計14件 225億円	計9件 58億円

Direct Investment Logos:

- 2009-2013: CerebrEX, Nakamura, pubridge, 他
- 2013: Mega karyon, hey, REFINVERSE, 他
- 2014: sansan, Microwave Chemical, WHILL, 他
- 2015: KBI BIOPHARMA, SmartDrive, GRA General Reconstruction Association, 他
- 2016: TREASURE DATA, ASTROSCALE, KYOTO ROBOTICS, EMBRACE, ABEJA, 他
- 2017: GROOVE X, SCOHIA, Elephantech, IQPS, i space, LINKWIZ Robotics & Partners, 他
- 2018: EXAWIZARDS, 光コム, umitron. install Sustainable Aquaculture on Earth, 他

計9件565億円（259社に投資済）

Strategic LP Investment Logos:

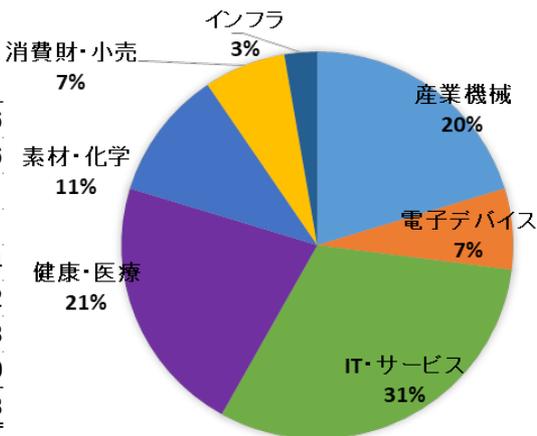
- UTEC Co-Founders for Innovation
- GB Global Brain Corporation
- MedVenture Partners
- WIL WORLD INNOVATION LAB
- if IncubateFund
- ATR
- NVCC
- Energy Environment Investment
- TechAccel
- UMI Universal Materials Incubator Co.,Ltd.

業界全体と比較し、INCJは健康・医療や産業機械、電子デバイス、素材・化学など民間のリスクマネーが行き渡りにくい産業への投資が中心となっている

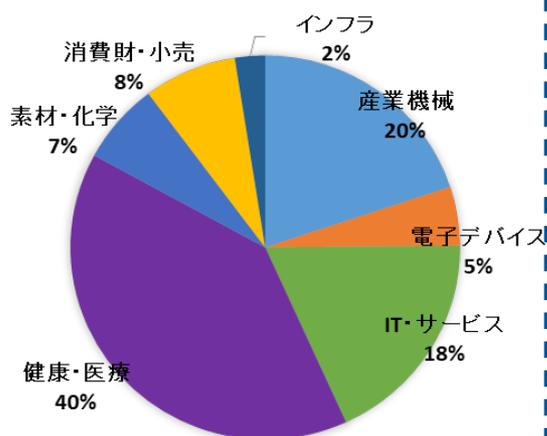
直接投資（2013年～2018年）の詳細内訳

	支援 件数	支援 決定額 (億円)
産業機械	15	186
電子デバイス	5	46
IT・サービス	23	171
健康・医療	16	371
素材・化学	8	64
消費財・小売	5	72
インフラ	2	23
LP投資	0	0
合計	74	933

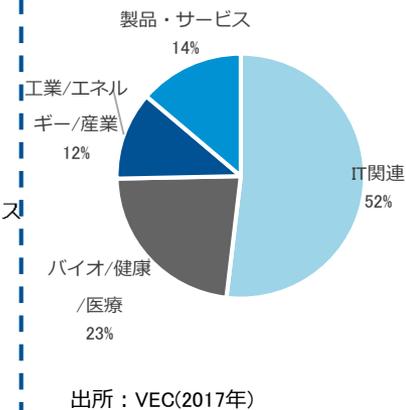
件数構成比



支援決定額構成比 (%)



【参考】
業界全体構成比（金額）

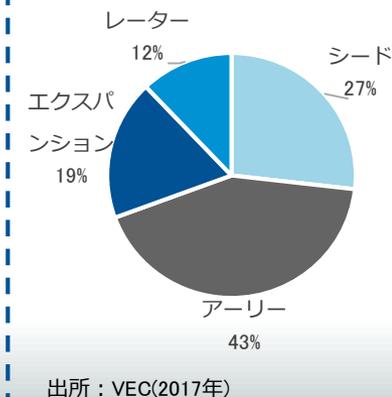
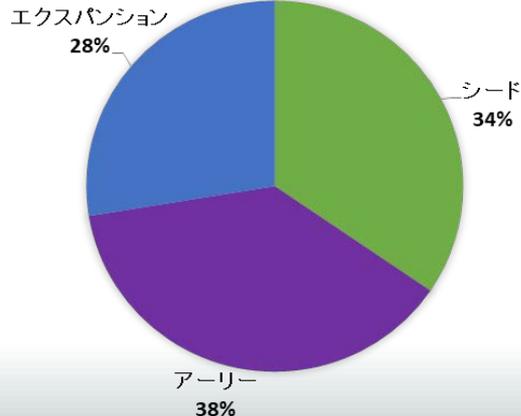
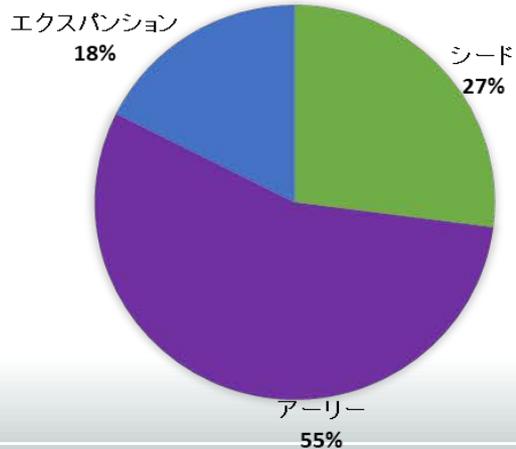


インダストリー別

ステージ/案件類型別

支援
件数 支援
決定額
億円

	支援 件数	支援 決定額 億円
シード	20	322
アーリー	41	354
エクспанション	13	257
レーター	0	0
LP投資	0	0
合計	74	933

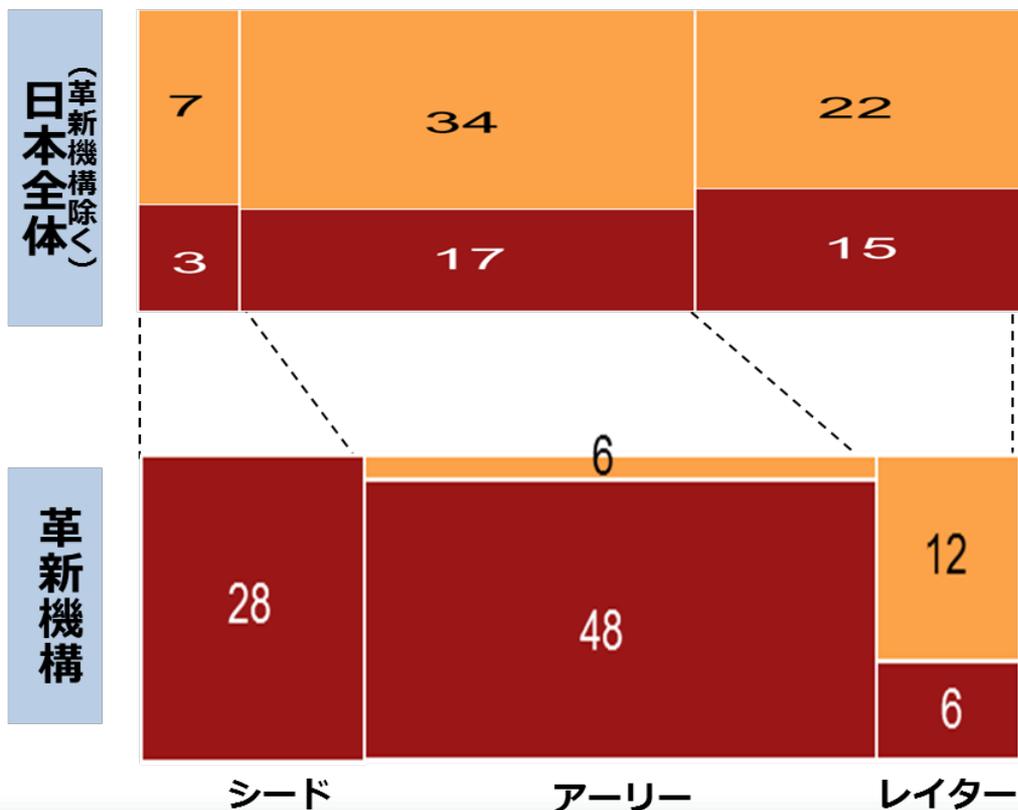


INCJは非IT関連のシード・アーリー期の投資や、規模の大きな投資等、民間VCの投資が手薄な分野へ投資を行っている

国内VCとINCJのステージ別・業界別投資金額の割合(2015年度)

IT関連 非IT関連

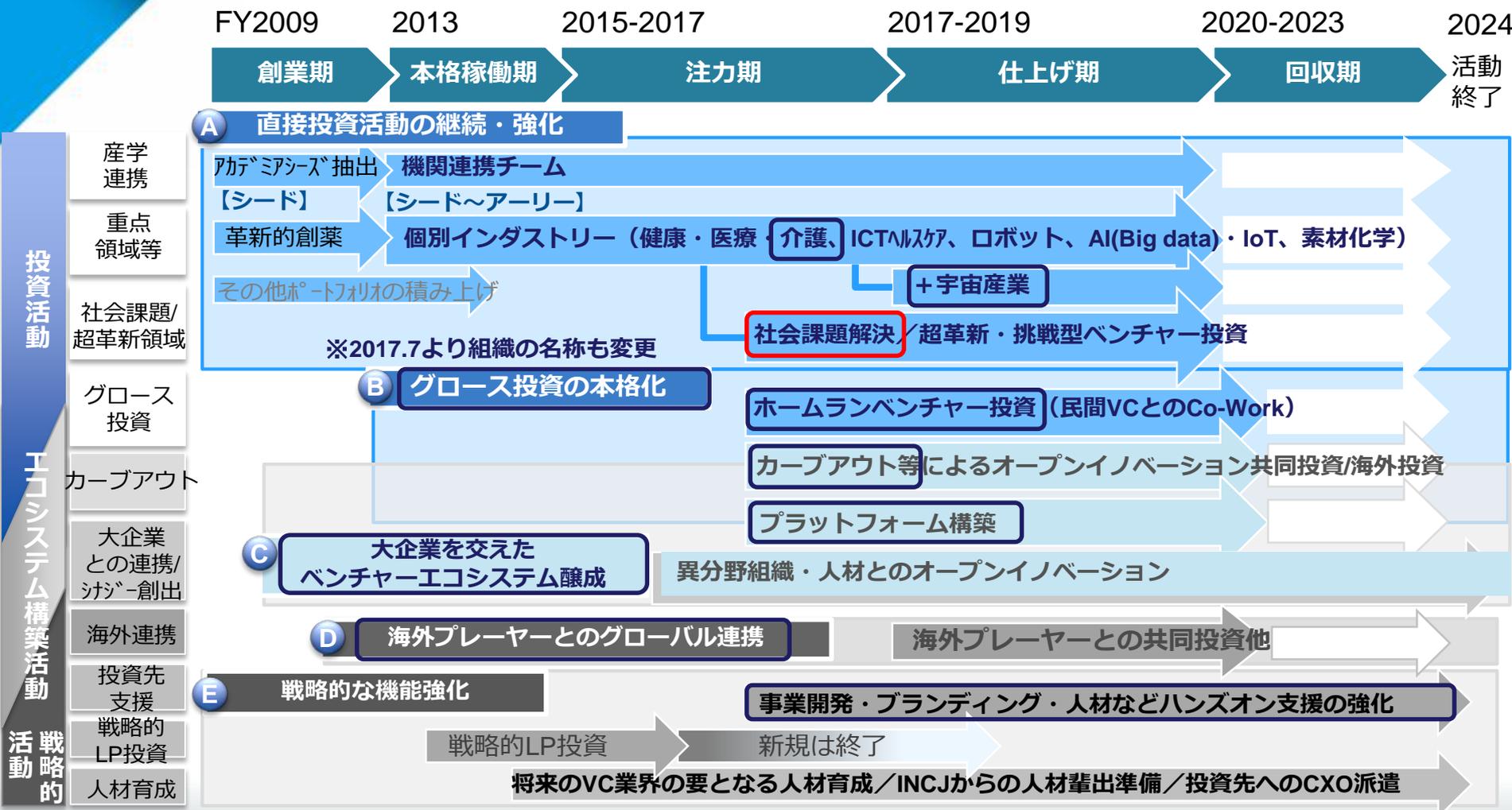
数字は全体(100%)に占める割合(%)



※LP投資を除く

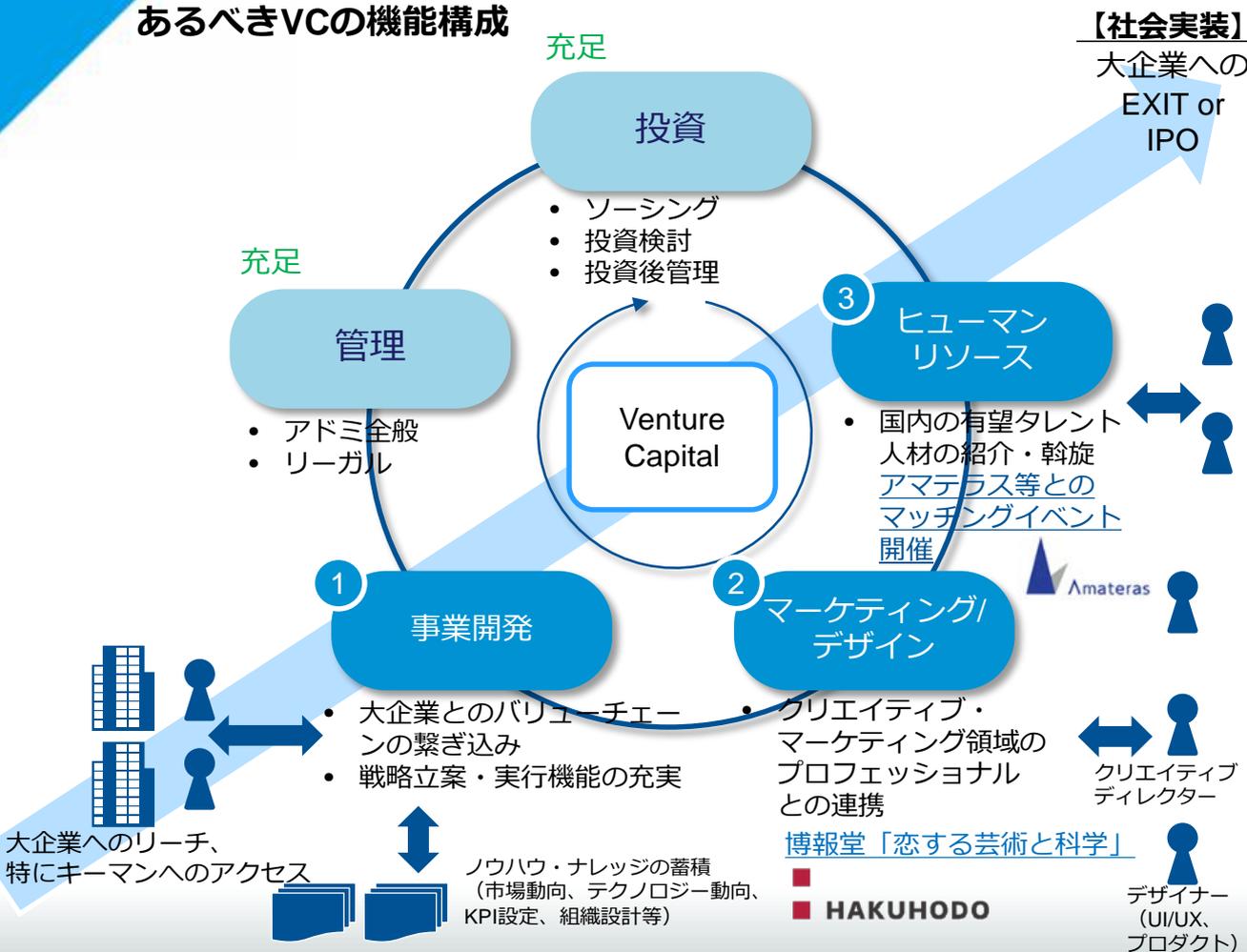
出所: 産業革新機構HP、一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンターより作成

2017年度からは「仕上げ期」として集中的に活動を推進中。
 エコシステムの構築と大企業を絡めたバリューアップを通じ、プロフェッショナル集団として次のフェーズへ



「個別インダストリーの作り込み」「ブーストアップ投資」「大企業との繋ぎ込み」にも注力し、3つの機能を付加しながら、ハンズオン支援・バリューアップ活動を強化している

あるべきVCの機能構成



参考：米系大手VCのチーム構成 () 内は人数*

ANDREESSEN HOROWITZ

- ・ Investing (25)
- ・ Market Development (26)
- ・ Technical Talent (13)
- ・ Executive Talent (9)
- ・ Marketing (8)
- ・ Corporate Development (8)
- ・ Policy and Regulatory Affairs (2)
- ・ Operations (22)
- ・ Board Partners (7)
- ・ Special Advisors (3)

KPCB KLEINER PERKINS CAUFIELD BYERS

- ・ Venture (13)
- ・ Product & Design (2)
- ・ Digital Growth (9)
- ・ Green Growth (6)
- ・ Seed (3)
- ・ Operating Partners (3)
- ・ Talent (4)
- ・ Business Development & Marketing (4)
- ・ Legal & Finance (3)
- ・ Strategic Advisors (13)

パートナーの大半は投資以外を担当

*: 2016/8時点

未来投資戦略2018の骨子の実現にも寄与する案件の新規投資検討、バリューアップを進め、イノベーションの社会実装に向けて活動している

大企業新規事業機能のカーブアウト構想

ICTヘルスケア構想
(地域包括ケア×ICT)
(医療/介護×AI)
(育児×ICT)

ダイナミックマップ基盤(株)による高精度三次元情報のインフラ整備

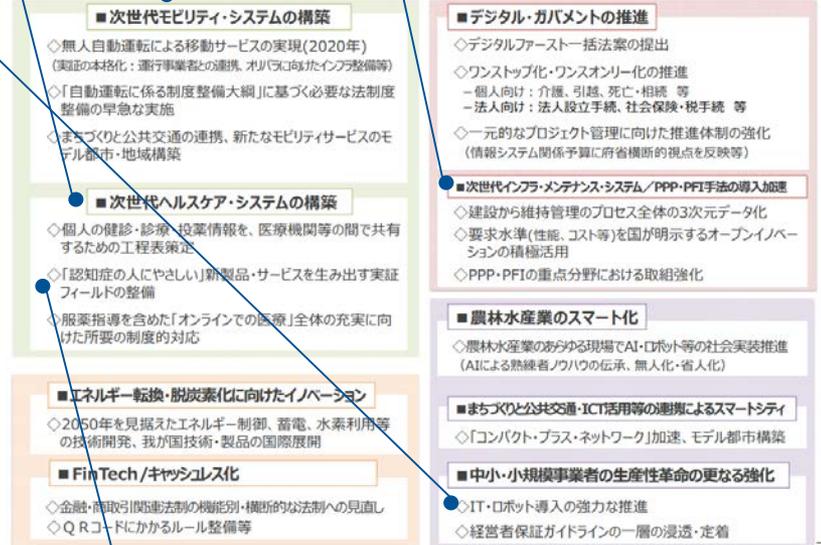
デジタル化に伴うプラットフォーム創出

ロボット知能化ベンチャー

未来投資戦略2018概要 - 「Society 5.0」[データ駆動型社会]への変革 -



重点分野とフラッグシッププロジェクト



素材・化学分野における新事業情報プラットフォーム構築 (UMIの取り組み)

人材育成IoTベンチャー

インフラ点検ベンチャー

ロボット×IoTのホームランベンチャー創出

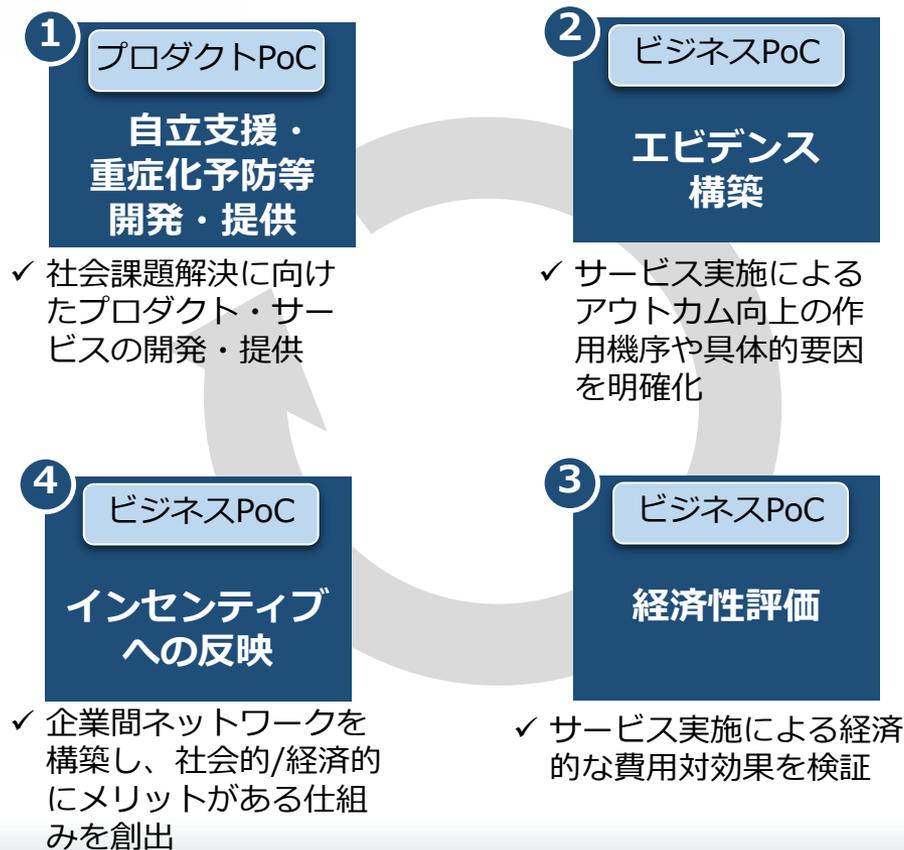
INCJ版インダストリー4.0構想

注力投資分野と投資先事例(1/2)

医療・介護業界 ベンチャービジネス

医療・介護サービスのエコシステムの目的

エコシステム構築に向けた座組み



エコシステムを構築するためには、業界を横断したプレイヤーがそれぞれの強みを活かして連携し、座組みを構築することが必要

注力投資分野と投資先事例(2/2)

宇宙産業 ベンチャービジネス

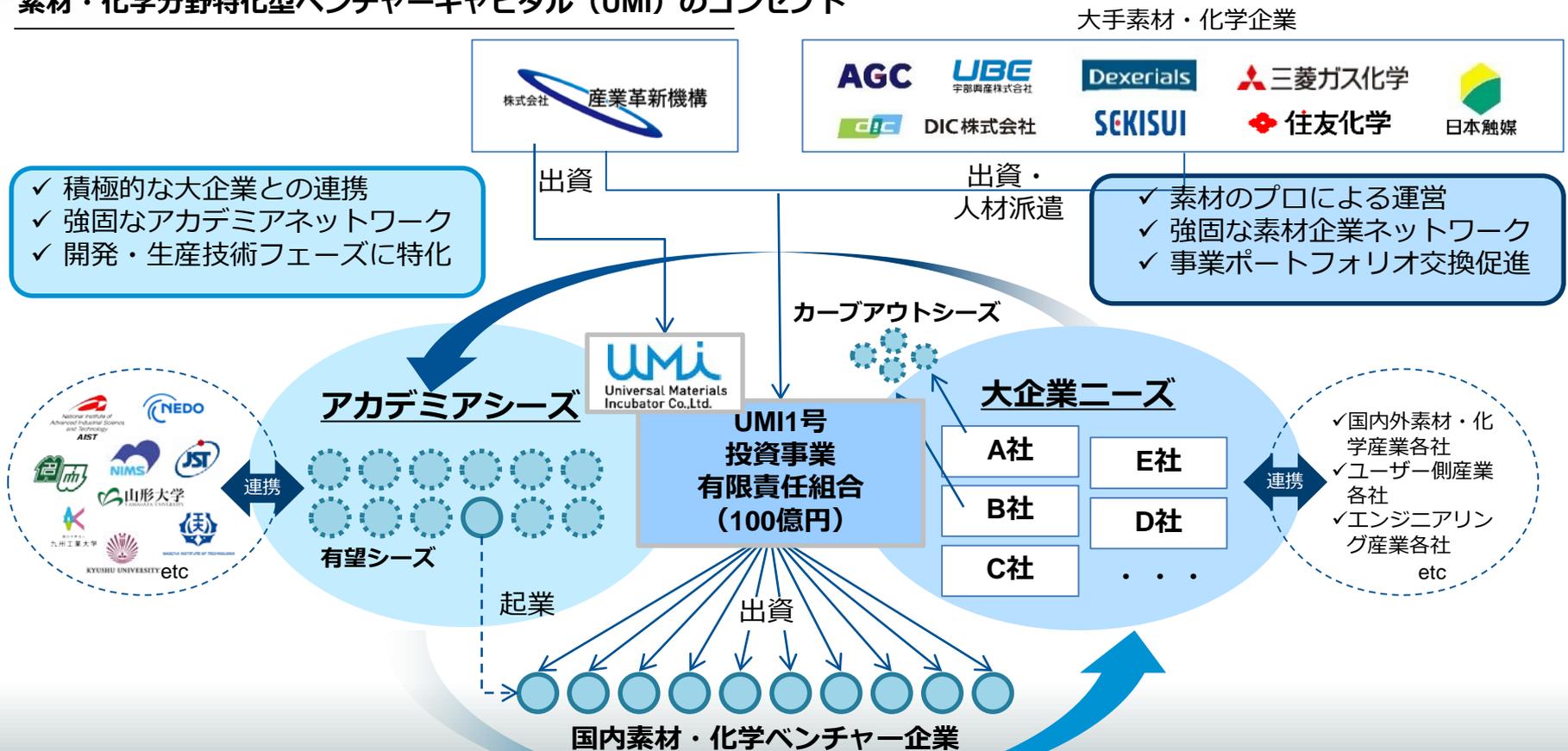
宇宙産業サービスから、宇宙データ取得／アプリケーション利活用事業まで幅広く投資実行し、日本発技術の研究開発／事業化、グローバル展開等を支援中

	投資先	投資規模	概要
宇宙サービス	Astroscale 	\$65m (上限)	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙空間利用の脅威となるスペース・デブリ問題に対応可能な低コスト除去技術を研究開発し、実用性の高いデブリ除去サービスのグローバル提供を目指すベンチャー
月面/宇宙資源		35億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本勢で唯一、月面輸送・月面資源探査の実現を目指す ローバーは開発済で小型軽量化技術で優位性あり。世界最軽量クラスのランダーを開発中
衛星開発	QPS研究所 	8.5億円	<ul style="list-style-type: none"> 24時間観測・全天候対応型では世界初の100kg以下の小型SAR（レーダー）衛星を開発する福岡発ベンチャー 防災・環境調査・海洋監視等に役立つ、高度リアルタイム地球観測インフラを構築
		8.5億円 (上限)	<ul style="list-style-type: none"> 小型光学観測衛星の設計開発・サービス提供。世界を毎日観測できる地球観測網の構築を目指すベンチャー 第3回宇宙開発利用大賞経済産業大臣賞受賞
衛星データ活用		13.4億円	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転制御に用いられる、高精度三次元地図を提供 準天頂衛星で測位精度を向上。ダイナミックマップの測量時における自己位置の精度が高まる
		8億円	<ul style="list-style-type: none"> 水産養殖IoT/AIベンチャー。衛星データも活用し高度化 データ解析結果を活用した自動給餌システム開発

素材化学領域における プラットフォームファンドの創出

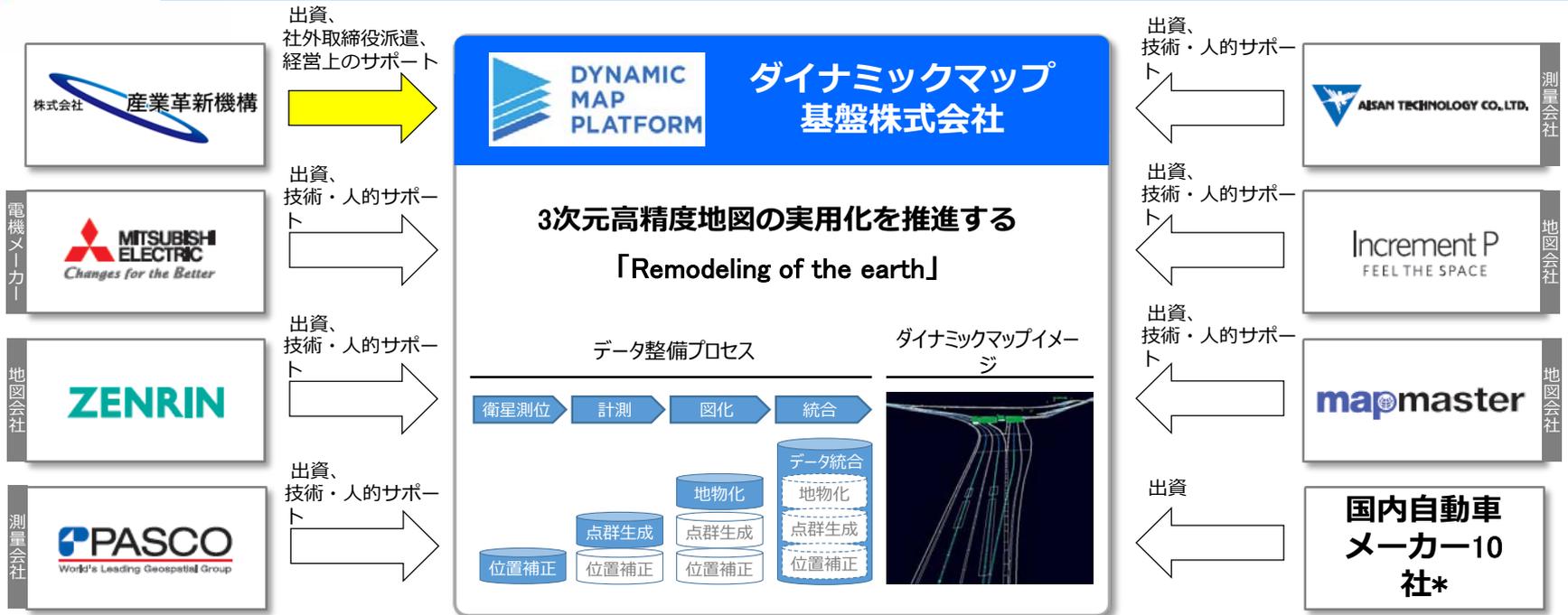
- アカデミアと大企業各社が参画/連携する産業の新規事業創出プラットフォームとしての、素材・化学分野特化型ベンチャーキャピタル ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社（「UMI」）を設立
- 素材化学産業からの評価が高く、2号ファンドへの民間移行を検討中

素材・化学分野特化型ベンチャーキャピタル（UMI）のコンセプト



自動運転領域における プラットフォーム企業の創出

投資対象：ダイナミックマップ基盤株式会社
 事業内容：自動走行の実現に向けた高精度3次元地図データの整備
 出資総額：37億円（共同出資者を含めた出資総額）
 支援決定公表日：2017年6月13日



* いすゞ自動車、スズキ、SUBARU、ダイハツ工業、トヨタ自動車、日産自動車、日野自動車、本田技研工業、マツダ、三菱自動車

- 自動走行に必要なとなる3次元高精度地図において基盤となる「協調領域」のデータを整備
- 3次元高精度地図をカメラ・センサー及びGPSといったデバイスと組み合わせることで自動運転の高度な制御を実現
- 自動運転の実現により、交通事故減少、交通制約者の移動支援、渋滞緩和による環境負荷低減等の社会課題の解決に貢献

自動運転領域における プラットフォーム企業の創出

ダイナミックマップを通じた自動運転・走行支援安全システムの社会実装を実現する

本件の狙い

- 「**自動運転社会の実現**」に向けた先駆的**事例の実現**を狙うもの
- グローバルでデファクトスタンダード**を獲得

本件概要

- ダイナミックマップの事業化**に向けて、INCJがリスクマネーを供給
- 2020年の東京リトル・パーク・パブリック選手村 ⇨ 会場間の輸送、地方にいる買い物難民 (700万人) 対策等の一手

参画プレーヤー

- 三菱電機・地図会社・測量会社に加えてトヨタ・日産・ホンダなど国内自動車会社10社の**自動運転・安全支援システム**に関連する企業

想定される社会インパクト

- 高齢化による運転手不足対策、地方における買い物難民対策、輸送コストの低減等の**根深い社会課題を解決**

構想イメージ

計測機器・準天頂衛星 (総合電機)



MMS

- ✓ 高精度3次元地図の計測装置の開発
- ✓ 必要に応じたMMSの改良技術



準天頂衛星みちびき

- ✓ cm単位で測位可能な衛星打上げ
- ✓ 2018年には7機体制を構築し更なる精度向上



衛星技術+人材

計測 (測量会社)

点群データ計測

- ✓ MMS及びSWでの面補正による位置情報の正確性の高い点群データの取得
- ✓ 公共測量向けに長年、実績のある計測技術を活用

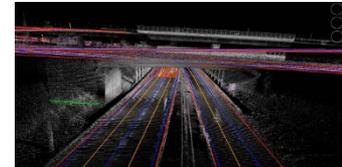


計測技術+人材

図化 (地図会社)

地図データ変換

- ✓ 点群データから高精度3次元地図への図化 (地図への変換)
- ✓ 長年、各社で研究開発してきた図化技術を活用



図化技術+人材

ダイナミックマップ基盤企画 (DMP)



世界に先駆けた自動運転用地図の生成

- ✓ 自動運転に求められるダイナミックマップの生成・品質保証
- ✓ 自動車メーカー (OEM) 各社の協調領域化

※内閣府 SIP (戦略的イノベーションプログラム) 「走行環境のモデル化」の社会実装



成長資金・中立性・オープンイノベーション

株式会社 産業革新機構

- ✓ 海外展開含む積極的な事業支援
- ✓ DMPが事業立ち上げるために**充分な資金の提供**
- ✓ 官民ファンドという中立性を活かした計測会社・地図会社・OEM間の**利害調整**
- ✓ ソフトウェア企業等との橋渡しによる**オープンイノベーションの推進**

ベンチャー・グロース投資グループ: キャピタリスト人材のバックグラウンド

事業会社にて事業開発・R&D・マーケティング、戦略コンサルティング会社、投資銀行など業界外出身者が集まりつつある(業界全体でのデータはないものの、新設ファンド・CVCなどにより人的流入は急速に拡大)

INCJによる戦略的LP投資先のキャピタリスト

キャピタリスト数

- 100名超のキャピタリストが投資活動に従事
- うち、70名以上が他業界出身者

新たにキャピタリストになったメンバー出身例

- ベンチャー(日本、米国経営メンバー他)
- 省庁(METI他)
- コンサルティング(戦略、財務他)
- シンクタンク
- 素材化学メーカー(研究/技術開発、新規事業他)
- 家電メーカー
- 銀行
- 保険
- 証券(投資銀行他)
- 商社
- サービス(インターネット広告他)
- 化粧品
- ソフトウェア
- 専門職(薬剤師他)

INCJのベンチャー・グロース投資Gのメンバー

